



JTUC-aomori

No.347 2018年11月10日

れんごう青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017) 735-0551
FAX (017) 735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)



連合青森第19回地方委員会

次代の運動への橋渡しとなる年とする！

連合青森第19回地方委員会が10月23日(火)13時から弘前市の弘前パークホテルで開催され、地方委員、役員など約90名が出席した。

谷川浩二津軽地協議長の開会あいさつの後、議長に福井由香子地方委員(自治労)を選出し、議事が進められた。

あいさつに立った連合青森内村隆志会長は今後一年間の運動課題を①近年相次ぐ自然災害への個々の備えと被災地への寄り添い、②政治課題、③春季生活闘争、④労働組合が目指す「働き方改革」、⑤連合結成30年に向けた取り組みの5点について述べ、「一強政治からの転換を望む心ある有権者の負託にこたえるよう、第19回統一地方選挙及び第25回参議院議員選挙において連合青森推薦候補者の確実な当選に向け、今まで以上に取り組みを強化する」「地方や中小は賃金が低くてもやむを得ないという雰囲気をは拭する取り組みを粘り強く展開する」「長時間労働是正とともに36協定の適正化を呼びかけ、連合青森のみならず経営者団体との連携も迫及し、実効性のある取り組みとする」と決意を述べた。

この後來賓あいさつに移り、弘前市秋元哲商工振興部長、田名部匡代国民民主党県連代表、山内

崇立憲民主党県連代表、加藤とし子社民党県連合副代表、相馬寛人県労協事務局長、前衆議院議員升田世喜男氏が各々の立場から激励のあいさつを述べた。

また今地方委員会では公正で持続可能な社会の実現に向け、ITUC(国際労働組合総連合)が定める「ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)世界行動デー」に合わせ、参加者全員で「Decent Work for All(すべての人にディーセントワークを!)」と唱和するアクションも行った。

次に「2018年度一般活動報告、会計報告、会計監査報告」が行われ、満場一致で採択され、続いて議事に入り、第1号議案「2018~19年度運動方針の補強(案)」では「『組織強化』を進め、2年後の『1000万連合』実現に全組織が結集し社会連帯を高めて、次代の運動への橋渡しとなる年とする」「非正規労働者・未組織労働者・若者の支援



ディーセントワークアクション

と『何でも労働相談』の更なる対応強化」「働くことを軸とする安心社会の構築に向けた政策・制度の取り組み」「政策実現に向けた政治活動の強化」等について、第2号議案「2018年度一般会計収支剰余金の処理」、第3号議案「2019年度予算」、第4号議案「連合青森第15期役員の補充」について提案され、満場一致で採択された。

地方委員会終盤に入り、「すべての選挙戦の勝利をめざし、連合青森に結集する組合員一人ひとりが最後まで全力で戦い抜く」とした「特別決議」を採択し、続いて「地域社会において働く者・生活者の立場に立った政策・制度の実現に取り組み、社会の不条理に立ち向かい、『働くことを軸

とする安心社会』の実現に全力で取り組む」とするアピールを採択し、内村会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、意思統一を図った。

Action!
36 “残業”にも
ルールが
あるのを
ご存知
ですか?

食品ロス削減にむけ、食の大切さを考えよう！

「第26回食・みどり・水のフェスティバル」

連合青森主催による「第26回食・みどり・水のフェスティバル」が11月3日(土・祝)、青森市の「サンロード青森」イベントホールで開催され、組合員や一般市民など2,100名が訪れた。

このイベントは本県の基幹産業である農業・林業などに関する環境問題に対応し、県民の関心を深め、「青森県のおいしい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で連合青森加盟の関係労組（自治労、全農林、全水道、林野労組）により、毎年開催されている。

また、組合員や地域の子供たちで田植えから稲刈りまで行い生産している「アジア・アフリカ支援米」も今年で26回目を迎え、多くの子供たちが飢えて苦しんでいるマリ共和国に向けて600kgが発送された。

開会にあたり連合青森内村隆志会長は、「近年、食品ロスが社会問題となっている。世界中では飢餓で苦しむ人々が沢山いる中、世界中の支援米の倍以上の米が日本では食べずに捨てられている。

食品ロスを減らすために私たちにできる事、改めて食べ物を大切にしていける事に理解を深めてほしい」と挨拶した。

ステージイベントでは各労組が考案した「利き水コンテスト」や「野菜の輪投げゲーム」、毎年行列ができる「餅つき大会」や各ブースでは「手作りリース」や「自動車工作」などが催され、たくさんの子供たちが参加し、大いに盛り上がった。



子供たちに大人気の餅つき大会



手作りリースに真剣に取り組む子供たち

過労死 〇

11月は「過労死等防止啓発月間」

十和田市議会議員選挙・推薦候補者2名の必勝を！

連合青森は2018年に開催した各執行委員会で、2018年12月16日投票で実施される十和田市議会議員

選挙（定数22）に下記2名について連合青森組織内推薦候補者とすることを決定した。



畑山 親弘(はたやま ちかひろ)

- ①昭和20年3月25日（73歳）
- ②現6期
- ③自治労
- ④無所属

【最終学歴・職歴】

- ・昭和38年3月 青森県立三本木農業高等学校卒業
- ・昭和38年4月 十和田市役所 採用
十和田市職労中央執行委員長3期
自治労県本部中央執行委員3期
- ・平成3年4月 十和田市議会議員選挙初当選（現6期）



久慈 年和(くじ としかず)

- ①昭和26年12月19日（66歳）
- ②現1期
- ③森林労連
- ④社民党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和45年3月 岩手県立福岡高等学校卒業
- ・昭和45年4月 林野庁青森営林局三本木営林署採用
- ・平成8年～18年 連合青森上十三地協幹事
- ・平成9年～23年 林野労組三八上北分会執行委員長
- ・平成24年4月 社民党十和田支部幹事長
- ・平成27年1月 十和田市議会議員選挙初当選（現1期）

※①候補予定者生年月日、②当選回数、③出身（推薦）組織、④所属政党

コミュニケーションは労働組合の原点 連合本部主催「総対話活動」

連合は結成30周年を踏まえ、今後のあるべき姿を念頭に置きつつ、全構成組織や全地方連合会と直接対話を行うことにより、意見や提案などを今後の運動へ反映し、一体感をもった連合運動を進める取り組みとし、「総対話活動」を行っている。

連合青森との対話は、11月2日（金）15時から、県労働福祉会館で行われ、連合からは神津会長をはじめ5名、連合青森は四役等、17名が出席した。

神津会長は「コミュニケーションは労働組合にとって原点」と述べた上で、「連合という存在を世の中に浸透させるためにはメディアに取り上げられることは必要だが、一方では異なる意で伝



神津会長
あいさつ

わってしまう事もあり、文面だけでは行間の思いは伝わらない。コミュニケーションによる気付きが連合運動の飛躍につながる」と述べた。

対話は、①連合「人口減少・超少子高齢社会ビジョン」（最終報告）および「連合ビジョン」（仮称）について、②連合運動強化特別委員会について、③支え合い・助け合い運動についての3つのテーマについて行われた。

参院選勝利に向け、候補者一本化進める 野党連携に向けた協定書調印式

来年の第25回参議院議員選挙における候補者一本化をめざし、連合青森は国民民主党、立憲民主党、社民党の各県連の代表と無所属・升田世喜男元衆議院議員と野党連携に向けた協定書の調印式を10月23日（火）12時より、弘前パークホテルで



候補者一本化を
めざし調印

行った。

この協定は①参院選において与党が利することがないように、本県選挙区において与野党1対1の構図を確立すべく、候補者を一人に絞り込むため、協力・調整を行う。②各者は情報と認識の共有化を図り、相互に協議を進める。とした2点。

連合青森内村隆志会長は「5年余り続いた安倍政権での暴挙、一強の弊害にストップをかけると

いうことは、与党支持の一部の方も含め、国民の多くが願っている。だが、今の状況の中で野党が分裂した形では参院選の勝利は難しい。升田氏も含め野党の力を結集し、候補者の一本化を図り、参院選に勝利するという意思統一が必要だ。連合青森も支援という立場で取り組みを強化していく」と述べた。

毎月5日は『連合の日』

連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森もこの本部方針を受け、『連合の日』について5日を中心に街頭行動を主として取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

今月の街頭行動は、11月が過労死防止月間であることをうけ、長時間労働の是正や36協定の周知・適切な締結、人間らしい生活が出来る働き方などを呼びかけた。



10月連合の日。
吉田副会長も参加。



11月連合の日。
棟方副会長も参加。

2018年11月行動予定 11月10日現在

- 11月12日(月)~14日(水)
「JILAFベトナム・ミャンマーチーム招へい」
- 11月15日(木)17時30分 青森市内
「県経営者協会と連合青森との懇談会」
- 11月16日(金)13時 県労働福祉会館
「青森県退職者連合第28回定期総会」
- 11月16日(金)18時30分 むつ来さまい館
「下北地協第30回定期総会」
- 11月17日(土)14時 青森市アスパム
「第6回青年委員会幹事会」
- 11月19日(月)18時 五所川原市プラザマリユウ
「西北五地協第30回定期総会」
- 11月20日(火)18時 十和田市 上北教育会館
「上十三地協第30回定期総会」
- 11月22日(木)18時 弘前市 弘前パークホテル
「津軽地協第30回定期総会」

- 11月27日(火)18時30分 県労働福祉会館
「第5回女性委員会幹事会」
- 11月28日(水)17時45分 県労働福祉会館
「食みみ第4回実行委員会」

2018年12月行動予定

- 12月3日(月)14時 県労働福祉会館
「第8回三役会議」
- 12月3日(月)15時30分 県労働福祉会館
「第9回政治センター幹事会」
- 12月10日(月)11時30分 さくら野青森店前
「連合の日街宣行動」
- 12月10日(月)14時00分 県労働福祉会館
「第12回執行委員会」
- 12月10日(月)15時30分 県労働福祉会館
「第1回地場労組対策委員会」